



メルトが
かんじない
ホシエ

サルパササヨ

R18

ラスベガス 早朝



こんな時間に
なんだ
あの人集り
は……



目が覚めたついでに
散歩にでちゃったけど
いい空気だなあ

思ったより
治安も
良さそうだし

お？



今日はSPを連れて
いらつしやらないわ

チャンスだ

サイン
ください



こっち向いて
——あら？

消えたぞ

いったい
どこに？





103っ♡

メル……

いやー
ラムダ？

お
おはようー

はっ



んじや
改めまして
こんばんは
メルトー

ええ
こんばんは

ゴッ

ゴッ



まだ
朝の挨拶には
早くてよ

それと
生憎だけど
エゴ違いね

一流のスターは
パラッチに
エサを撒くような
真似はしないの

?!

年中発情中の
マスターさん



いまのキスで
こんなに
しちゃったの
かしら

こんな街で
護衛もつけずに
夜のオサンポだ
なんて

飢えた白鳥に
襲われても
文句は言えない
わよね？

う……っ

待……っ
ここで？!



や
やばいっ
て……っ
表から
丸見え……

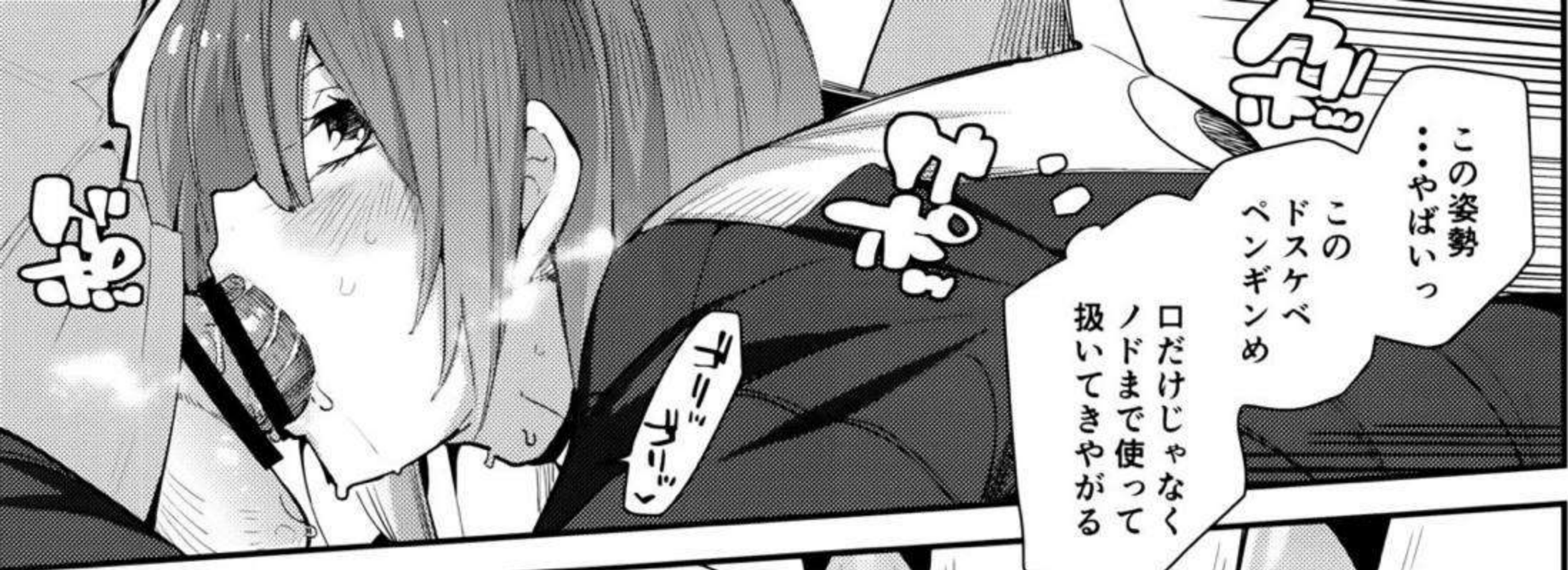
いっ
いっ
いっ

いっ
いっ
いっ

う……っ
だ、だめだっ

ん
ん
ん

くあ……っ



この姿勢
...やばいっ

この
ドスケベ
ペンギンめ

口だけじゃなく
ノドまで使って
扱いてきやがる

ボッ

ボッ

チニチニ



コッ

コッ

メル
メルト
もう...
で...
でる...



カッ

カッ



カッ

カッ



カッ

カッ

カッ

カッ



カッ

カッ

カッ

カッ

カッ



あなたっ
てば

こっちから出す
魔力リソースは
一流ね……♡



ほあ

ごちそう
さま♡
マスター♡



あら
だめよ
マスター



俺
メ、メ、
メルト……ッ



ああ
でも自分で
するのはだめ



くす♡
今夜は
部屋で
待ってなさい
きつと
いいコトが
あるわ



こんな
汚い路地裏で

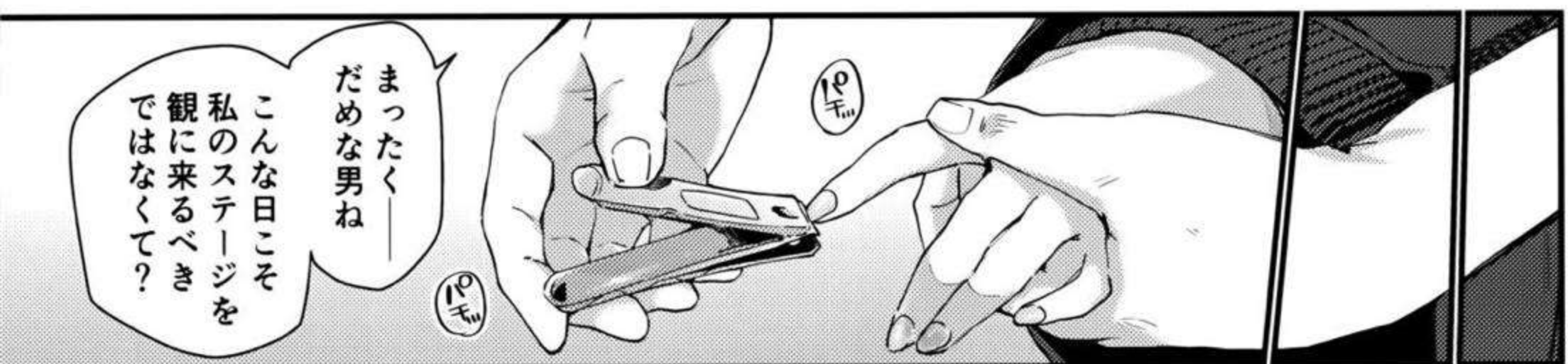
この私を
組み敷く
つもりかしら？

う……



どうせなら
.....

全て
私の体内に
射精したい
でしよう？



まったく
だめな男ね
こんな日こそ
私のステージを
観に来るべき
ではなくて？

10千
10千



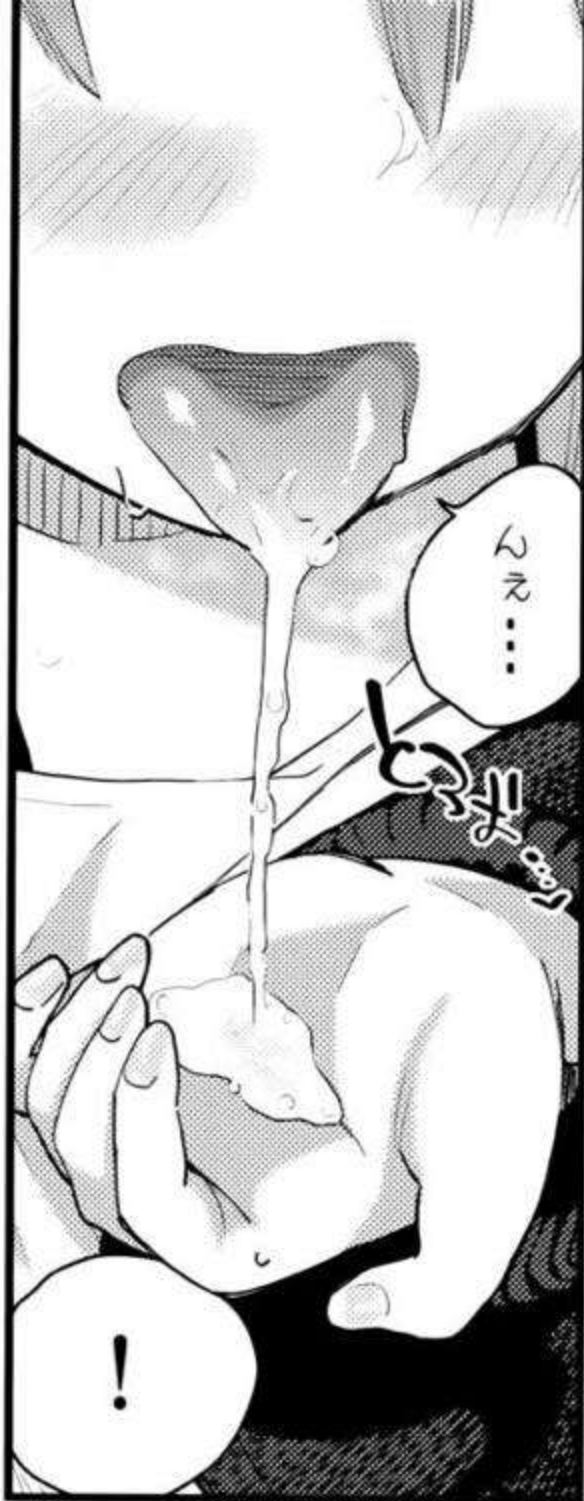
クライマックスで
あなたの姿なんて
見つけて
しまったら

果てちゃう
かもって
くらいにね



あんな
大衆の中で
勃起が
おさまらなく
なったら
まずいでしょ

それもそうね
ええ私も
今日はとても
昂ったもの

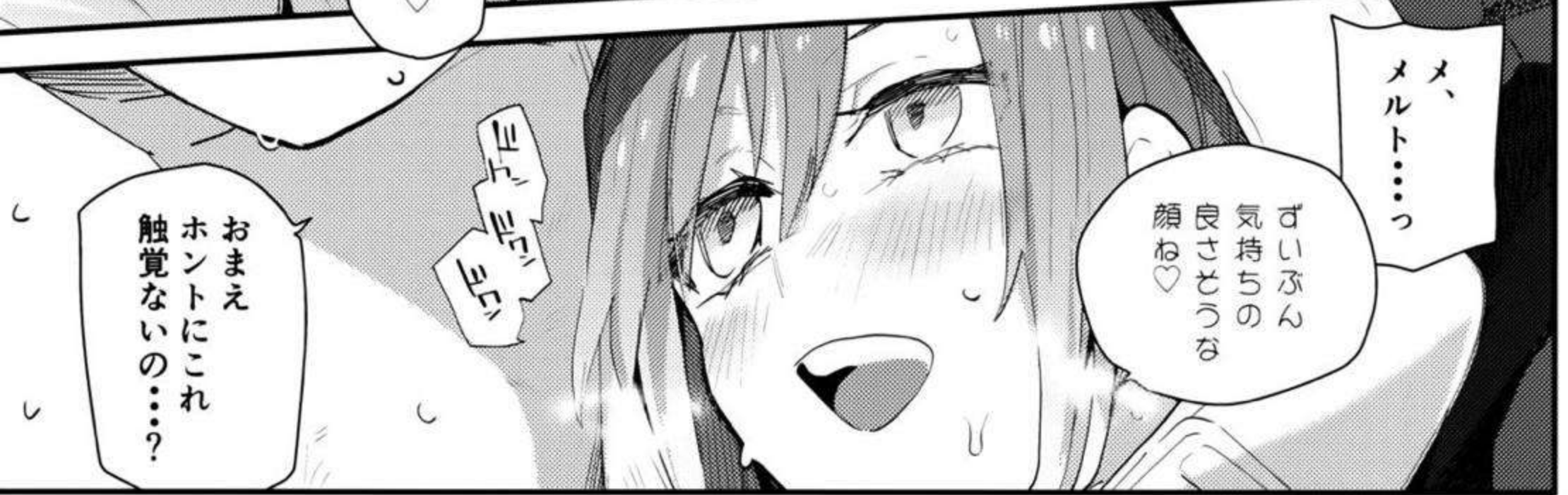




んっ...

♡♡♡♡♡

ふふっ♡



メ、メ、メルト...

ずいぶん
気持ちの
良さそう
な顔ね♡

おまえ
ホントにこれ
触覚ないの...?



さあ
どうだった
かじら?

びくんびくん
してるのが
私の手でも
わかるわよ♡







メルト
おまえ……



合気ッ！

ドゥ



フッ

BB

フッ



ばかね

そりゃ
私だって
興奮したら
濡れるわよ



どろどろ
じゃんか……









私の膣内に
あなたの
おちんちんが

ちゃんと
挿入してるんだって
私にも
実感できるから

……っ

は……っ

ごめん

じゃあ
我慢できる？

いいえ
私は
我慢なんて
しないわ

全部
受け入れて
あげる♡

メルトオ
オオツ

はあっ♡

あっ♡

あっ……っ♡

♡♡♡♡



ん…
はあっ♡

オオオオツ
……ツ
オツ

いっ♡

ちゅん♡
るるるるるる
……♡

んんん

ああ
すっ♡

ねえ
もっと…

私で
気持ちよく
なっ♡

んんん♡
んんん♡



あっ♡

カ

おなかが……
おしつぶされるう
……♡

あっ♡

入ってくる……

ムッ

ムッ



カ

カ

カ

カ

カ

カ

でるっ

イくよ
メルト……ッ

いいわ……♡
遅くても
素敵……♡

もっ♡
突いて♡

はっ♡
はっ♡
はあっ♡

キッ……♡
私の膣内に
……♡



アッ……

ズッ
ハッ

ハッ

ハッ



ああ……♡
素敵よ
本当に……♡

こんな♡……♡
ねえ——
まだまだ……
足りないん
でしょ……♡

ハッ

ゴッ

ゴッ

人形 1時間半おくれ
ほんとうに
すみませんです。



あとがき

この本を手にとっていただき、ありがとうございます。どうも、わいらです。

10作目の本になります。ご容赦ください！
今回は「メルトが〇〇シリーズ」の第四弾です。水着メルトです。
水着メルト…ついに出たんですね…。やったぜ。

本文についてですが、今回あまりにも時間なすぎて半分諦めてました。
本文いっさい手をつけてないのに異聞帯5章くるから無理があるよな。
周りに助けてもらいまくってようやく形になりました。
ほんとにありがとうございました。

でも今回ののは感じないメルトフェチ(?)的にぜひ世に出したかった本だったので、
どうかここまでこぎつけられて本当によかったです。
というわけで感じないホンでしたが、実際挿入ってる感覚って直接わからなくても
こんな風に擬似的に体感できると思います。
完全流体でもヒトの形をとっている以上は押し込まれる容積分、体内のスペースは
やっぱり圧迫されるので。そこは身体の強靱なサーヴァントでも一緒でしょう。
それもメルトの小さな身体なのでなおさらだと思います。可愛い！

次は分厚〜い本だしてえよなあ。
メルトのキャラクターの性質上、挿入シーン以外がどうしても膨らんでしまうので、
今度は誰か思いっきりずぼずぼするところ描きたいね。

ではでは〜。

メルトが感じないホン入

2019/12/29 コミックマーケット97

著者 わいら
発行 サルパッチョ -sarpaccio-
印刷 サンライズ(敬称略)

twitter waihadaka
pixiv 14996935
mail yappari_waira@yahoo.co.jp

サ
ル
パ
ツ
チ
ヨ